

## InfraRed Doppler (IRD) 戦略枠提案に関する審査報告

2020年7月22日  
すばる科学諮問委員会  
委員長 兒玉忠恭

IRDを用いた戦略枠提案“Search for Planets like Earth around Late-M Dwarfs: Precise Radial Velocity Survey with IRD” (PI: Bun’ei Sato, Co-PI: Nagayoshi Ohashi) は、戦略枠の趣旨に合致したものであり、すばる戦略枠第4回公募の採択課題とする。

本提案は、2018年4月5日〆切のすばる戦略枠応募課題として提出され、その後、(1) 有識者による書面審査、(2) すばるプログラム小委員会 (TAC) による外部レフリースレビューに基づいた科学審査、(3) すばる小委員会 (SAC) による体制審査を含む最終審査を経て、2018年9月28日のSACにおいて2年間70夜の条件付き仮採択となり、さらに2018年10月25日のSACでS19Aからの観測開始が認められた。その後2019年7月23日のSACにおいて、RV測定の長期安定性に関する報告を受け、2年間70夜を正式採択とした(注1)。(4)2020年7月17日のSAC・TAC合同審査会において、IRD戦略枠提案の科学的価値および装置が必要性能を達成していることを確認し、残り105夜(S21A-S23B)の採択を決定した(注2)。

(注1)

2019年4月のS19B採択会議前に、RV測定精度と長期安定性を確認することにしたが、最終判断は7月に持ち越された。

(注2)

\*採択夜数は175夜とする。

\*2022年1月-7月に中間審査を行い、データの取得状況・解析状況・観測目的の達成率・データリリースの状況などを確認し、以降のプログラム割付に反映させる。場合によっては、課題の継続を認めない場合もありうる。

(追記; 2020年11月20日)

データ占有期間は申請書記載の24か月とすることを2020年11月20日のSACで承認した。